

令和元年6月20日

社会文教委員会研究テーマについて

社会文教委員長
村松 まり子

研究テーマ 「子供を見守り育む社会について」

当委員会が所管する事項は福祉・教育・文化など多岐にわたるため選定には
ずいぶん迷いましたが、最も今日的なテーマとして「子供を見守り育む社会に
ついて」としたいと思います。

その理由と背景ですが、最近報道などで、児童虐待あるいはいじめなど子供
を取り巻く悲しい事件が後を絶ちません。

児童虐待は、家庭内の閉鎖空間の事案であること、また児童相談所が県の所
管であることなどから、市としてどのように関わるかなど難しいこともありま
すが、大切な未来の有る子どもたちを、地域社会としてどの様にして見守り、
育ていけるかは私達にとっても共通の願いでもあります。

この問題に関しては、折も折、昨日、参議院本会議で「親による体罰を禁止
する児童虐待防止法改正案」が成立しました。

さらに、自治体では、東京都が「家庭内でしつけと称した子どもへの体罰を
禁じる虐待防止条例」として、今年4月より先行して施行されています。

この様に、飯田市独自の条例制定まで行くかは判りませんが、私達の研究が
子どもたちの安心・安全な地域社会づくりに寄与できればと考えます。

また、いじめの問題についても先ごろの山崎議員が一般質問で指摘したよう
に、まだ根強く残っている問題で、このことも私達にできることがあれば少し
でも力になればと想う所です。

今後の進め方ですが、まずは実情について関係機関から学び、その上で10月
の議会報告会のテーマとして市民の皆さんと一緒に考えていければ、と思いま
す。

以上